

全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

第56号(平成28年11月号)



わくらば

病葉の陰にひっそり山葡萄 (直人)

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 鈴木 正之

〒140-0014 東京都品川区大井1-54-6 いぶき学院内

TEL:03-5743-7458 FAX:03-5743-7459

Mail:center-office@shijuku.net

理事長 仲野十和田

TEL03-3963-5572

広報部長 大住 明敬

TEL048-957-8608

理事長コラム



先日、エリア関東15周年記念会が行われ、50年以上塾をされていた方々と私塾ネットで役員として永年に渡り活躍された方々が表彰されました。内容は報告があると思いますので割愛させていただきますが、半世紀に渡り塾を経営されているのは本当に地域に存在を認められていないわけ不可以ないことであるし、守るところは守り、変えるところは変えるということをしっかりとされてきたのだと尊敬の意を表すばかりです。湯口前理事長はよく、「塾は大きさじゃない、続いていることが大事だ」とよく言われていますが、その通りだと思い、私もその言葉に勇気づけられます。



さて、去る9月25日（日）長野県松本駅近くのホテルプラザにて開催された、チャレンジ学院（エリア中部代表松本紀之先生）の「創立50周年記念祝賀会」に出席させていただきました。チャレンジ学院スタッフの方々が企画運営している手作り感満載の祝賀会です。気迫の籠った踊りから始まり、挨拶や余興の歌（プロで活躍されている方です）もほとんど

どが卒塾生でした。卒塾生の数は2万人以上といわれていましたので、まさにチャレンジ学院がこの地域の文化を作り出していると言つても過言ではないと思います。会の最後には在塾生の方たちが舞台に立ち、将来なりたい自分を表現していました。松本先生には、個人的にもご指導をいたしたり、自塾のスタッフ全員連れてチャレンジ学院にてお話をうかがったこともありますが、若いスタッフにも通ずる塾人としての本質的なことを伝えてもらったと記憶しています。そして、それを貫いて一代で50年続いているのだと思います。最近、チャレンジ学院から1冊のアルバムが届きました。私の名前が入った参加者一人ひとりのオリジナルアルバムです。

「さすが…」

この場を借りて感謝申し上げます。

塾団体合同忘年会

（主催：東京私塾協同組合）

《協力団体》

塾団体合同会議（公益社団法人全国学習塾協会・全国学習塾協同組合・私塾協同組合連合会[埼玉県私塾協同組合・茨城県学習塾協同組合・群馬学習塾協同組合・神奈川県私塾協同組合・協同組合静岡県私塾連盟・和歌山県私塾協同組合]・千葉学習塾協同組合・NPO学習塾全国連合協議会・全日本私塾教育ネットワーク・愛知県私塾協同組合

理事長 仲野十和田（ナカジュク・東京都）

四日市公害ぜんそくから半世紀

10月15日「塾の日記念式典」の前夜、四日市コンビナートクルージングといオプショナルツアーが用意されていました。ホテルから貸し切りバスで10分ほど行ったところに港があり、小さなクルーザーで湾を巡ります。ガイドはこのコンビナートで働いていた方とのことでした。さて、港へ行くと、何か私の知識の中のイメージと違います。

「あれ、海が透き通っている！」

「空気がきれい！」

四日市コンビナートというと公害汚染というイメージがあったのですが、完全にそれは覆されました。実はその過去の汚名返上のために、この地域の方々はとても頑張ったそうです。考えてみればコンビナートは電気や石油など、私たちに生活に欠かせないエネルギーを供給するなくてはならないものです。その代償として過去には「公害」という負の遺産を残しましたが、今は生まれ変わったこの場所、この景色は四日市の財産になりつつあります。

応援したいと思いました。

その後、場所を移して本当の前夜祭へみなさんは向いました。しかし、お酒を飲まない私は、三重県最大の繁華街を前にして、私塾ネット若手ホープ（渡辺先生、村社先生、長江先生）の方々へバトンタッチをし、後ろ髪を引かれながらホテルへと戻つていきました。



期	日 平成28年12月4日 日曜日
場	所 渋谷エクセルホテル東急
	『プラネツ』
時	間 午後6時00分～午後8時30分
	受付開始5時40分
会	費 1名 10,000円

* 参加ご希望の方は、私塾ネット関東でまとめさせていただきますので、総務部渡邊までご連絡ください。

Mail:net-kanto@shijuku.net



エリア東北 代表 安藤水無子
(Andy's 青森県)

「エリア関東・東北合同研修会」報告
最低気温が5度を下回る日が続き
(青森の最高気温が、東京の最低気温
です)、朝・晩は暖房が必要になり、ここ青森は
あっという間に寒くなり冬の気配を感じています。

9月4日(日)に青森県下北半島の津軽海峡沿いにある下風呂温泉において「エリア関東・東北 合同研修会」を行いました。エリア代表が渡部先生から私、安藤に変わって初の研修会で、更にエリア関東との合同研修会ということで、研修会場をどこにするかということで悩みました。八戸、三沢、函館でという案もありましたが、たぶん今回お越しいただいたら、一生いらっしゃることはないのではないかと思い、敢えてむつの下風呂を選びました。東京から朝一番の新幹線に乗っていただいても、現地着は13時。片道7時間かかる研修会となり、案内をしてからも、何名の先生に参加して頂けるのかと不安に思っていましたが、エリア関東からは11名もの先生方にご参加頂き、東北からは4名の計15名での研修会実施となりました。研修会一週間前に台風が続けて青森を通過し(台風10号は観測史上初の東北地方太平洋側への上陸!)、当初は新幹線を降りて八戸から列車で下北へ移動する予定でしたが、台風の影響で下北までの列車が運休となり八戸からレンタカーでの移動になるなど、直前まで変更につぐ変更と、参加される先生方にはご迷惑をおかけしました。

研修会当日は、台風一過の眩しいくらいの秋晴れとなり幸先の良いスタートとなりました。関先生と鈴木学さんの運転するレンタカーの2台で、八戸から佐井港まで。(研修会の前に、今回の観光の目玉である「仏ヶ浦」を海上観光するため)私は鈴木さんの運転する車に乗車しましたが、青森の福士先生による正調津軽弁講座を聞きながらのあっという間



仏ヶ浦の海上観光を終えて佐井港で遊覧船を背景に

日本列島縦断 北から南から

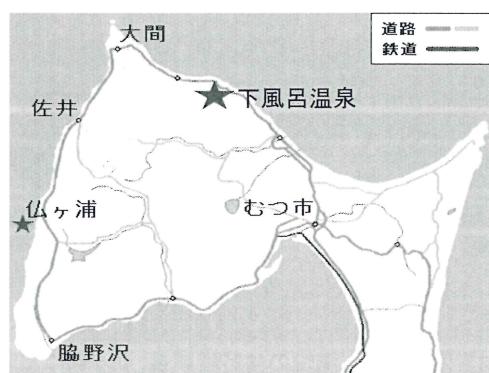


和室宴会場での研修会風景。左から関、仲野、安藤先生

の3時間半でした。佐井港から30分乗船し、仏ヶ浦へ。ここは、大町桂月も訪れた場所で「神のわざ鬼の手づくり佛宇陀人の世ならぬ処なりけり」と造形の奇妙さに感歎して歌を詠んでいます。(偶然ですが、研修会終了後の9日「仏ヶ浦」を含む下北半島一帯が「日本ジオパーク」に認定されました。)

仏ヶ浦を観光した後は、いよいよ今回の研修会場へ。「今さら聞けない、番号法と個人情報法」のお話を関先生よりしていただきました。マイナンバーのカードすら申請していない私にとっては(他にも何名か同じような先生がいらっしゃったようだ...)、全てが初めて聞くことばかりで大変勉強になりました。質疑応答の時間に「ホントに初步的な質問ですが...」と話されてから質問されていた先生も。

研修会の後は、今回の合同研修会のメインである「懇親会」です。下北の新鮮な雲丹や大間のマグロをいただきながら、飲んで、食べて、語り合ってと本当に楽しい時間を過ごすことができました。次の日は、時間に余裕のある先生方は「恐山」へ、そのまま帰られる先生方は「八戸」「青森」へと下風呂を後にしました。今回ご参加頂いた関東の先生方には、「遠路遙々來たかいがあった。」とおっしゃって頂き、心より大変感謝致しております。また初青森にも関わらず、二日間下北・八戸間を往復運転して頂いた鈴木学さんにも本当に感謝しています。今回ご参加頂いた先生方、本当にありがとうございました。



関東・東北 合同研修会 運営委員として
ふくし英数教室 福士 明美

実行委員長の関先生から、今回の関東・東北合同研修・懇親会は仲野先生、安藤先生の船出を祝し開催されるものであるというメールをいただき、微力ではございますがお手伝いせねばと少々緊張感をもって参加いたしました。

当日は八戸駅で安藤先生と合流し、谷村先生・鈴木先生を改札でお待ちしておりましたが、女子トータクが炸裂し先生方の後ろ姿を追いかけるというドタバタスタートになってしまいました。

関東の中村先生、長江先生とご一緒したレンタカーの中はとても楽しく、特に長江先生のおかげで笑いが絶えませんでした。初めての地でハンドルを握ってくださいました鈴木さん、お疲れさまでございました。

「観光船で船酔いしたらどうしましょう～」と不安だった仏ヶ浦観光も、まるでヨーロッパの世界遺産の観光地を訪ねたようでとても感激いたしました。（海外だと神社ではなく、教会ですね！）研修会・懇親会では不慣れで拙い司会を担当いたしましたが、事前に関先生から原稿をいただきおりましたので、とても心強くなんとか進行することができました。旅館「三浦屋」さんのお料理・温泉も素晴らしい、おかみさんも気さくな方ですっかり「三浦屋」さんのファンになってしまいました。以前も下風呂温泉に泊まった事はありますが、こんなにいい温泉でしたっけ？硫黄泉なのにまろやかで、安藤先生と夜も朝も入浴してしまいました！

今回の研修・懇親会は何から何まで用意周到、関先生にご準備いただきました事、参加された皆様全員がその緻密さに驚かれたのではないでしょうか。心より感謝申し上げます。

そして遠路遙々下北の研修会にご参加くださいました谷村先生、エリア関東の皆様、この度は本当にありがとうございました！来春、東京で再会できること、楽しみにしております。

せば、まだのお～



美女に付き添われてご満悦の仲野理事長、仏ヶ浦にて

エリア中国 西本 雅明
(パワーゼミ西本・広島県)

仲野先生、理事長就任おめでとうございます。早速、エリア中国の定例会へお越しくださいましてありがとうございました。

7月の定例会は尾道市の「若竹塾尾道教室」で開催しました。「若竹塾尾道教室」は今年春、開校した教室で、佐藤代表が「見に来ていいよ。」と、言ってくださったので、研修会を兼ねて会場としてご提供いただきました。教室の近くには、美術館があり、その美術館はきれいな庭と併設されたレストランが美味しいということなので、お昼はそのレストランで頂きました。写真はその時のものです。通常の定例会は広島駅前で開催しますが、7月は会場を変えて研修会を行っています。

今回は地元の私立「尾道中学校・高等学校」の先生をお招きして学校の様子をお話しいただきました。実は尾道高校からお越しいただいた先生は、エリア中国会員の娘婿さんで、私は普段から親しくさせて頂いておりますが、とても優しく信頼できる人柄で、尾道高校へ奉職されて以来ずっと広報担当をなさっています。実は会員の義父さまとご一緒に場面を拝見したことがないので、私としては、お二人の関係がどんな感じなのか週刊誌的興味を持って、ちょっと意地悪な視線で見てしまいました。

さて、エリア中国は城先生が会議にご参加くださいなくなったり、他の先生方もお忙しくて、スケジュールが定例会と合わなかつたりして、会議が少し寂しい時があります。元気な会員が入ってくれると良いですね。そう言えば最近大きな研修会をしていません。以前2年に1度、大きな研修会をしていました。遠くからも参加者が有り、準備は大変でしたが充実感はあったような気がします。少し反省しています。しかし、いざ「どんな内容の研修会が良いのだろう」と考えてみると、エリア中国は小さなグループですが、それでも会員は多種多様で、研修会の必要がない（自塾内で十分研修できる）会員もいれば、日々の授業に悩みを持つ会員もいて企画が難しいなあと思ってしまいます。私は企画を考える立場にはないのですが、頭の中が空っぽなのが残念です。



**エリア四国 近藤 誠介
(文化の森スクール・徳島県)
2020年大学入試、私見・偏見?**

2020年から、センター試験が「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」に代わるのは、皆様よくご存知だと思います。この改革の基本は「学力の3要素」が、高校や大学でおろそかになっているからということです。

「学力の3要素」とは、①十分な知識・技能②思考力・判断力・表現力③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、です。小・中学生は2012年のPISAの成績で高い水準になったから“OK”とのようです。日々、生徒に接しておられる皆様方にとっては、???と感じられるのでは。実は、学力調査の点数を上げるため、学校や教委は一所懸命、過去問をやらせていましたから。

さて、大学入試改革では、中央教育審議会から、様々な提言がなされました。現在残っているのは、記述式問題の導入と英語の4技能の評価というところでしょうか。国語と数学の記述の採点は、志願する大学が行う方向のようですが、押しつけられる大学側は、さぞ迷惑でしょうね。文系学部がほぼないに等しい、地元、徳島大学はどう対処するのでしょうか。

英語は、当面リーディングとリスニングは大学入試センターで、ライティングとスピーキングは外部の試験を使い、ゆくゆくは全部外部を使うよう

す。現行のセンター試験の作問には大学の先生が600名ぐらいかかわっているようですが、大学の先生が作れない、作りたがらないライティングやスピーキングを、高校の先生がどうやって指導するのでしょうか。今、見ていく限り、徳島のような地方都市では、絶望的だといわざるをえません。

(そういう点では、塾の存在価値があるでしょうが。)

しかし、このような英語の教育観は、一種の植民地政策であるといえます。大英帝国は第二次世界大戦後、植民地の独立が続くな、以下のような教育戦略を打ち出しました。①英語は英語で教える②理想の英語教師は英語を母語とする者③英語学習は早いほどよい—どれも植民地経験から出たもので、理論的な根拠はありません。これらは、まるで日本政府が進める「グローバル人材育成」の英語教育改革案ですね。辞書には、グローバル=英語化という意味はないのですが。

英語一辺倒の発想からでは真のグローバル化が見えてきません。道具にばかり気をとられて、もっと本質的なところがなおざりにされているのでは。大学の二次レベルの問題で、英語は読めても、その内容の理解できない生徒が年々ふえています。AIの弱点は読解力にあるのですが、公立の中学生で教科書の読解ができない生徒が半数近くです。英語をどんなに流暢にしゃべれたところで、決してノーベル賞はとれません。

私塾ネット四国 平成28年度 秋の研修会のご案内

・日 時：平成28年12月11日(日) 13:30～20:00

・会 場：オークラホテル丸亀 2F 孔雀の間 TEL. (0877) 23-2222

・参加費：研修会のみ … 1,000円
研修会・懇親会 … 7,000円
懇親会のみ … 6,000円

☆ ご宿泊希望の方は、5,600円オークラホテル丸亀（株主優待価格 シングル・朝食付）各自精算

研修会スケジュール

13:30～ 受付開始

14:00 第1部…基調講演

『これから求められる学習指導とは?』

教育開発出版株式会社

専務取締役・営業本部長 糸井 幸男 様

16:20 第2部…パネルディスカッション

〈からの塾の在り方〉

仲野十和田・湯口兼司・寺嶋謙次・近藤誠介

十亀幸雄・佐々木智英・糸井秀男(敬称略)

18:00 懇親会 12Fエメラルドの間

◆お問合せ・お申込み

Tel: 0877-63-4639—学習院セミナー(寺嶋)まで

メール: toshin-zentsuji@niji.net

◎申込締切—11月19日(土)

皆様のご参加をお待ちしています。

私塾ネット四国 代表 寺嶋謙次



全国最初で唯一の「私塾の歴史 資料館」 開館記念式典・報告会・懇親会・資料館見学会

私塾の歴史 資料館
館長 佐藤 勇次

塾業界紙3社（「私塾界」、「塾ジャーナル」、「塾と教育」）の11月号で式典・見学会の様子が記事として掲載されていますので、ここでは当日の状況を別の視点でご報告致します。

1 日 時：2016年10月09日（日）／ 13時～18時

2 会 場：

- (1) 調布市市民プラザ「あくろす」 式典・報告会 13:00～15:30
3階ホール、研修室1-4、調理室
- (2) 「私塾の歴史 資料館」見学会・懇親会 16:00～18:00
調布学園地下1階、地上1階 第1教室～第4教室

3 参加者：90名 【全国・地区別参加者人数一覧表】

地区	参加人数	地区	参加人数	地区	参加人数
青森県	1名	東京都	47名	富山県	1名
福島県	1名	埼玉県	12名	香川県	1名
長野県	1名	神奈川県	9名	高知県	1名
茨城県	3名	静岡県	1名	福岡県	4名
栃木県	1名	大阪府	3名		
千葉県	3名	広島県	1名		
				合計	90名

4 【参加者・種別一覧表】

所属 私立学校・学習塾団体・塾・企業ほか	主な参加者・人数
政界・参議院議員／秘書	大島九州男、渡辺美知太郎氏秘書
大学教授・講師・研究者・教育評論家ほか	7名
全国私立学校（当日は東京都・神奈川県で私立学校説明がありました。）	東京都3名、埼玉県2名、静岡県1名 富山県1名、高知県1名 合計8名
全国学習塾団体	全国から13団体の会長、理事長、役員が参加
大手塾・中小塾・個人塾・フランチャイズ塾	全国から45名参加
企業および業界紙取材記者	8名参加（その他省略）

5 「私塾の歴史 資料館」運営委員会の終身会員について

- (1) 1口10,000円の納入で終身会員として、いつでも資料館を利用できます。
- (2) 2016年11月5日現在の終身会員は下記の通りです。

口数と納入金額		終身会員ご芳名（敬称略）
30口	300,000円	筒井勝美
5口	50,000円	湯口兼司、龍井郷二、佐藤イサク
3口	30,000円	松本紀行
2口	20,000円	永瀬昭幸、西畠正夫、塙博
1口	10,000円	河合孝充、佐藤勇治、水沼友哉、佐藤克治、福田三郎内藤善彦
		佐藤哲二、坂田義勝、中嶋良三、松田邦道、筒井勝美、須原秀和
		近藤彰郎、加藤実、木村正史、大和洋子、鳥枝義則、谷村志厚
合計	720,000円	

【お願い】終身会員希望者は佐藤勇治までTel : 042-482-1481またはFax : 042-483-1618に連絡して下さい。申込書をお送り致します。

6 祝電と生花（盛花）を頂きました。（敬称略）

（1）祝電

元文部科学大臣・衆議院議員 下村博文 （株）ナガセ 代表 永瀬昭幸
(株)成基代表 佐々木喜一

（2）生花（盛花）

佐鳴予備校理事長 佐藤イサク（2基）、愛知県私塾協同組合理事長 山田真司
泉州私塾連合会会长 西村治也、英進館(株)会長・館長 筒井勝美、山田塾 山田明子

（3）お祝いの品物

湯口兼司、関 志郎、加藤 実、戸田敦子、木下和子、山田千里、
渡邊義文（佐久長聖中学校高等学校）、西畠正夫、中嶋浩一

* ご参加の皆様のお蔭で、大盛会でした。ありがとうございます。



式典の塾団体紹介での私塾ネット。左から谷村志厚、湯口兼司、城忠道、高橋豊明（ステップ）の各先生方。青森県むつ市の関志郎先生も遠路出席された。



「私塾の歴史資料館」運営委員会のメンバーを紹介する坂田勝義氏（右端）。左より副委員長筒井勝美氏、顧問中嶋浩一氏、小宮山博仁氏、小林弘典氏。右端は司会の戸田敦子氏。



富山県の片山学園中学校・高等学校理事長の片山淨見先生。来年から小学校を開校し、最終的には大学設立を目指していると語られた。



関西私塾教育連盟（関私連）理事長鳥枝 義則氏（右）と理事の須原秀和氏。



来賓ご挨拶をする駒込中学校・高等学校の学校長の河合孝充先生。



当日の参加者と業界3社（私塾界、塾ジャーナル、塾と教育社）の記者の方々。



私塾ネット関東設立15周年記念大会開催される

2016年10月23日（日）・東京ガーデンパレス

報告：長江広紀
(英数学院・神奈川県)

2016年10月23日、東京ガーデンパレスにて秋晴のもと、私塾ネット設立15周年記念大会が行われました。

第1部記念式典の司会は村社圭一先生（向学館）が務められました。

初めに行われたのは、学習塾功労者表彰。安藤進理先生（桜学習会）、渡辺公雄先生（人間教育渡辺塾）、長江勝秋（英数学院）の3氏が表彰されました。

続いて関東役員功労者表彰。立脇堯先生（富士進学スクール 当日は代理受賞）、加藤実先生（総合教育研究会）、桂馬辰尚先生（桂馬ゼミナール）が表彰されました。

受賞後のスピーチでは、各先生方がこれからの学習塾を取り巻く現状に対し、厳しくも暖かいお言葉を後輩に贈られました。



第2部研修大会は、司会蓮克彦先生（彩北進学塾）の司会進行で行われました。

教材会社の営業をされている方をパネリストに（SYN 水谷敬氏、奥澤裕介氏 エデュケーションネットワーク 金子章司氏 学書 藤城圭氏、神谷拓馬氏 教育開発出版 鎌田勝行氏 平井俊太郎氏 好学出版 壇明秀氏 中央教育研究所 野本大貴氏 日本教材出版 関根和典氏 文理 立浪隆之氏、川上真吾氏）イチオシ教材のプレゼンとパネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは、三谷潤一氏（声の教育社）をファシリテーターに迎え、「教材会社は見た！ 生き残る塾、消え行く塾」と題し、さまざまな回答が出て会場は大いに沸きました。

「自分のこどもを行かせたくない塾はいくつありますか？」「今ある学習塾のうち、5年後も存在しているのは何%あると思いますか？」など答えにくい質問に回答して頂きました。「きれいな塾」「イベントをやる塾」「保護者会など保護者との関係が密な塾」「能力開発型」（自分の子どもを行かせたい塾）、「暗い、汚い、くさい」「目先の点数を追いかける塾」「目標がはっきりしていない塾」（行



功労者表彰の先生方、いずれも50年を越えて学習塾の経営にたずさわり、私塾ネット合同以前から母体団体で活躍をされた。車椅子は長江勝秋先生と寄り添うのは奥様、左端は広紀さん、中央は安藤進理先生と左は光さん、右は渡辺公雄先生と奥様、右端は浩さん

かせたくない塾)、「しっかりとした理念」「早めの対応」(伸びそうな塾)、「何をやるかより、誰がやるのか?」「自塾の強みは何か?」「ラーメン屋でいうと何味か?」(5年後も存在している塾)etc。



←シンポジュームを卓抜した手腕で取り仕切った声の教育社の三谷潤一氏
↓居並ぶ11人のパネラーの皆さん。
各社のベテラン、呉越同舟でするどい
火花を散らす

午後6時30分から懇親会が行われました。司会は柳田浩靖先生(日米文化学院)、渡辺浩先生(人間教育渡辺塾)の名物コンビ。

仲野十和田先生(ナカジューク)の挨拶、学校紹介、余興クイズ「電話でGO」。また中村庸彦先生(中村学院)が作成したムービーが流れ、最後は私塾ネット関東の役員が紹介されました。

今回は若手の先生方が企画から携わり、新しい1ページを刻めた印象が残りました。好意的な感想も頂き、数ヶ月も前からの準備が報われた気が致します。個人的にも、父が表彰で喜んだ姿を見られたのは嬉しかったです。さまざまな形で携わった先生方に改めて感謝を申し上げます。



挨拶に立つ仲野十和田代表。後方に柳田、渡辺ダブル司会陣。漫才コンビでおおいに会場をわかせた



パネラーの皆さん。立浪、川上氏(文理)、関根氏(日本教材出版)、野本氏(中央教育図書)、壇氏(向学出版)平井、鎌田氏(教育開発出版)



私塾ネット関東の15年間に貢献をされた役員功労賞受賞の方々、左から桂馬辰尚先生、加藤実先生そして立脇堯先生の代理の桑原さん



↑神谷、藤城氏(学書)、金子氏(エデュケーションネットワーク)、水谷氏(SYN)



私学代表で祝辞を述べられる駒込学園の河合校長

表彰に寄せて

平成二十八年十月二十三日、私塾ネットエリヤ関東創立十五周年記念式典におきまして、永年私塾を続けて来たことに対しまして表彰していただきました。この場を借りて、感謝申し上げます。本年十一月一日をもちまして五十年になります。

本誌広報部より随想を記せとのご要望ですでので、五十年間のことを始めから今までだらだらと綴っていては紙面がいくらあっても足りません。そこで若い塾長さん達が参考になりうことだけを記すことにしました。

高校時代の友人S・H君は国立大の教育学部英語科で、学生時代は塾講師アルバイトをしていました。ある日私は彼のバイト先の塾に彼を車で送って行きました。ところが、その塾の塾長が玄関先で待っていて。「今日数学担当の講師が来られなくなつた。誰か探さなくてはならない」と言うのでした。友人はすかさず「お前やれよ」と私を指したのでした。やむを得ず二時限言われるままに講義しました。

その後のいきさつは省略しますが、昭和四十二年現在地に三階建てビルを構え、二階に学習塾英数学院を開校しました。講師は先ほどの友人が文型科目、私が理数を担当。他に国立大の大学院生の友人三人を加え、出だしへは調子よく生徒も増えてすぐに百五十人に達しました。ところが、昭和五十年、片腕であった英語担当のS・N氏が亡くなつたのでした。

生徒達や保護者の要望もあり塾を継続することにしました。英語は広告で募集した講師でしたのにしましたが、誰がやっても評判が悪く、真剣に考えた結果、私が英語を担当することにし、応募してきた講師に数学を任せました。ところが私は高校で赤点を取るほど英語が苦手でした。

B e 動詞というのがあるのも知りませんでし

長江 勝秋（英数学院）



た。きっとA動詞があるのだろう。こんな調子でしたので猛烈に勉強しました。ですから勉強していくと新しい発見ばかりでした。

中1のときから英語が分からなくなつた原因もはつきりしてきました。ですから生徒達にもそれを踏まえて指導しました。これがかえってよかったですだと思います。生徒達からは解りやすいと言われ、とうとう私は英語のエキスパートのように思われて來たのです。その後は益々順調でした。

第二の危機は大手塾の進出でした。いちいち話すときりがありませんが、臨海セミナー、湘南ゼミナール、栄光ゼミナール、ラサール進学教室他、我が塾の周囲に十五もひしめいています。うちの生徒が移って行くたび、絶望的な気持ちになりました。そんなときは、落ち着いて、自塾の長所をしっかりと確認し、スタッフ一同団結して取組み、何度も困難を乗り越えました。教訓「苦手な教科を教えよ」

その他の危機、スタッフ体罰事件、モンスターペアレンツ事件、いじめ事件などありました。が、次の機会に話すこととし、この稿は閉じます。興味のある方は個人的に会いに来てください。大歓迎いたします。

私塾ネット関東15周年記念大会を終えて 研修部 蓮 克彦（彩北進学塾・埼玉県）

私塾ネット関東15周年記念大会を終えての感想などを書いてみようと思う。まずは15周年という節目の年の記念大会に関わったことをうれしく思う。と同時に、これまで諸先輩方が築かれてここまで歩んでこられたこの私塾ネット関東に所属していることを誇りに思う。

さて、研修部としてあまりお役に立てたとは思えないが、第2部の研修会を主に担当させていただき、その時に感じたことを中心に記載しようと思うが、まずは、この会の趣旨に賛同し快く参加を引き

受けていただいた各業者の方々に感謝申し上げたい。この方々なくして、今回の研修は成り立たなかつたわけである。さらに、パネルディスカッションにて進行役をしていただいた声の教育者の三谷様には厚く御礼を申し上げたい。三谷様の進行あってこそ、この会が盛り上がったことは誰の目にも明らかである。

日程的にあまり余裕のない中で、私塾ネット関東としては初の試みの内容で、最初から不安はあったわけだが、終わって振り返ると、こういう形もありかなと思った。それは、参加していただいた各業者の感想からもうかがえる。お世辞もあるかもしれないが、直接仰っていただいたのは

「こういう会に呼んでいただきありがとうございます。」とか「面白い企画でこちらが勉強になった」、「ふだん思っていたことを言う機会をいただいて良かった」といった意見があったからである。もう1つ共通して出た意見では「どこまで本音で言つていいものか」という声も多々聞こえてきた。多少、塾に対しての遠慮というか配慮もあったのは確かだろう。しかし、各業者が塾に対して思っていることを多少なりとも覗けたことは、今後の塾経営についてのヒントになる部分が多くかったのではないだろうか。

参加していた塾の皆様がどう思ったかの聞き取りがありできていないのだが、すでに研修部として反省点も多々ある。特に時間配分が難しかつ

た。業者様のプレゼン時間がもっとも調整が大変だった。準備段階から苦労した。決められた時間の中でプレゼンとパネルディスカッションの2つを行うことは大変であった。ここでは業者の皆様にだいぶ無理を言って時間を調整していただいたところである。そして、もう1つの反省点は、やはり参加塾数の問題ではないか。これは私塾ネット関東の他の研修も含めての課題ではあるが、内容もそうだが日程その他含めてもう少し本気で検討していくべきであろうと感じる。

いずれにしても多くの方々のご協力の下で会が一定の成果を果たしたわけである。すべての方々に厚く感謝の意を表したい。

塾の日シンポジウム2016四日市大会

主催：公益社団法人全国学習塾協会 期日：2016年10月16日 会場：プラトンホテル四日市

報告；鈴木正之
(いぶき学院・東京都)

第1部 塾の日記念式典

開会の辞／会長式辞（安藤会長）／ご来賓祝辞（経済産業省、文部科学省、全国学習塾協同組合）／業界自主基準遵守塾表彰／全国学習塾作文コンクール表彰／祝電披露／三重県協議会の取り組み／閉会の辞

第2部 講演

ハンドベル演奏（桜丘中学高等学校ハンドベル部）／講演「夢を与える魔法の言葉」講師：柴田美香氏

第3部 民間教育交流会

開会の辞／ご来賓祝辞／乾杯／歓談／クイズ大会／次年度開催支部挨拶／実行委員長謝辞／閉会の辞

ほぼ毎年参加させていただいております。いつものように淡々と第1部塾の日記念式典が進んでまいります。そして、第2部の講演の前のハンドベルの演奏がとても良かったです。初めて生で聞きそのチームワークに驚かされました。そして司会（演奏の紹介をした）の女の子の語りはすばらしかったです。講演前のビデオでは難病にかかり野球少年がそれを克服し、甲子園出場とプロ野球選手になるという夢を叶える話。ほとんどの人が涙ぐんでいたのではないかと思います。講演者はそのお母様でした。個人的には本人の話も聞きたかったです。

第3部の懇親会もいつも通りという感じです。ただ、私塾ネットとしての参加者が少なく寂しかったです。（ちなみに昨年は近藤先生がいらっしゃって夜まで楽しく過ごすことができました。）



さて、私塾ネットとして有意義だったことは、懇親会で仲野理事長と関西私塾連盟の鳥枝理事長の会話が実現したことです。今後共に協力し合っていくことで固い握手を交わしました。合同での研修もありですが、鳥枝理事長を関東にお呼びしてお話しをしていただける機会をつくるとか、仲野理事長が関西でお話しをすれば、互いの団体にとって有意義なものになるのではないかと思います。



会場のプラトンホテル四日市

NPO塾全協 第42回全国研修大会

期日：2016年11月3日(木・祝)

時 間：◇研修会 13:30～16:45
 ◇懇親会 17:00～19:00
 会 場：私学会館アルカディア市ヶ谷

研修会 第一部講演会

講師 松平知樹氏（日本英語検定協会高大接続／カレッジスペシャリストチーム）

2020年度受験から実行に移される大学入試改革。その中で注目されているのが、大学入試で4技能を測定する英語外部試験です。日本英語検定協会では、上智大学と連携して「大学教育レベルにおけるアカデミックな英語力」を測定するTEAP（チープ）を開発し普及に乗り出しています。TEAPは、Test of English for Academic Purposesの略で、その名の通り大学での資料や文献を読む、英語で講義を受ける、英語で意見を述べる、英語で文章を書くといったRLSWの4技能で構成されています。

TEAPは主に高校3年生を対象とした、大学入試を想定して開発されています。難易度の目安としては、英検準2級～準1級程度で、大学入試に直結したレベルとなっています。

4技能は、Reading test（70分、マークシート択一選択方式）、Listening test（50分、マークシート択一選択方式）、Writing test（70分、解答用紙への記入）、Speaking test（10分、1対1の面接方式）で測定されます。

出題分野は、大学教育で遭遇する語彙・場面・分野を想定しており、日常生活での英語活用能力を問うものではないようです。

受験日程は現行の英検同様、年3回の試験が実施されます。受験料は4技能で15,000円、3技能で10,000円、2技能で6,000円とジャンル別の受験が可能となっています。

2017年現在のTEAP採用大学は30校とまだ緒に就いたばかりですが、今後年を追って増加するものと思われます。

採用形態は大きく以下の4パターンになっています。（出願方式）出願基準としてスコアの提出が必要な方式。（みなし方式）一般入試やセンター試験などスコアに換算する、または英語試験を免除する方式。（加点方式）一般入試やセンター試験などのスコアに加算、または合否判定時に考慮する方式。（代替方式）スコアをそのまま合否判定に活用する方式。

大学、学部によって採用方式や基準スコアが異なりますから事前のチェックが必要です。

研修会 第二部講演会

講師 安河内哲也氏

（実用英語推進機構代表理事）

東進ハイスクールのカリスマ英語講師として名高い安河内氏

が、英語4技能を伸ばすための、様々なアクティビティ・ラーニングのモジュールを、教室でどう実践するかをテーマに、出席者を生徒にみたてた模擬授業を行いました。



みごとな授業パフォーマンスで出席者の喝采を受ける安河内氏の模擬授業

ここ数年、安河内氏の模擬授業はたびたび実演公開されており、塾界でも被体験者は多いものと思われます。しかしながら、みごとな授業パフォーマンスに「金の稼げる」英語講師の実力を実感しました。氏のノウハウによる塾向けアクティビティ・ラーニング英語教材も開発中とのこと。遅かれ早かれ塾の現場にも、アクティビティ・ラーニングの手法も普及するのではないかと予感されるプレゼンテーションでした。

研修会 特別講演

講師 下村博文氏

（衆議院議員・元文部科学大臣）

おなじみの下村先生の登場です。自民党東京都連合会長として、小池東京都知事選や若狭衆議院選問題など、なにかと公務の慌ただしい真っ只中とあって出席が危ぶまれました。そんな折、お約束通りお越しになり熱弁を振るわれたのですが、これには塾全協の関係者の皆さんほっと胸をなでおろしたのではないでしょうか。講演のテーマ



は「日本創生」。ご自論の「教育立国」のなんたるかを熱く語られました。

まさに立て板に水、「教育立国」を語る下村氏

報告：編集部 谷村志厚

大井町から教育を考える会（OKK）主催 「2016教育講演会＆私立中高相談会」

11月3日（文化の日） 大井町アワーズイン阪急会議室

大井町から教育を考える会 理事長 木谷朝子

現在の体裁を整え、教育を通して日本・世界に貢献するという目的を持った『大井町から教育を考える会』（OKK）の教育相談会は、今年で11回目を迎えました。

私立学校28校、学習塾7塾、協賛2社、協力5団体という体系の下、参加人数324名という300名を超える参加者を得ました。昨年と同じ会場では私立学校のブースが足りない、受け付け・アンケート記入の場所がないなどうれしい悲鳴を上げました。第1回目の保護者より先生の人数が多い相談会を思い起こせば隔絶の感があります。

OKKはまた、政治・宗教に対して中立の立場をとり、教育という手段を用いて社会を良好なものにしようとしています。今回の相談会には、OKKの趣旨を理解してくださった品川区長にも応援のご挨拶を頂きました。品川区の商店街連合、商店街振興組合連合会の協力も得ました。

次に、ホームページからの抜粋を掲載します。OKKは、それぞれの地域に教育を通して貢献する事を目的とし、活動している団体です。各地域が活性



個別相談ブースは大忙し、進路確定直前とあって真剣そのもの

化し、良好な環境を作り出すために教育は不可欠と考えています。教育により社会を明るく前進させるために会員は活動をしています。最大のイベントは毎年11月3日に行われる私立中高相談会です。

OKKの私立中高相談会は「あなたにとって一番良い学校に行って欲しい」をコンセプトにしています。来場された一人ひとりに合った進路・学校を私学と学習塾の先生が一緒に考えていきます。中には悩み事の相談を受けたり、自分の学校よりも適切と思われる他校や公立学校を勧め説明する先生もいます。

私立中高の先生も学習塾の先生も望みは皆同じです。子供達が夢を叶えて幸せになって欲しい。そして日本が、世界が良くなつて欲しいということです。この相談会を終えた生徒の瞳には、『希望』の二文字が輝いているように思います。そして先生たちの笑顔もまた本当に素晴らしいものです。生徒の皆さんには、私たちに活力を与えてくれるという相互作用をもたらしてくれるのです。

以上、今年も感激のうちに終了したOKKの私立中高相談会でした。



濱野健品川区長のご挨拶、学習塾を応援する発言に喝采！

平成28年度(公社)全国学習塾協会 関東支部研修旅行のご案内

開催日 平成28年11月23日(祝)～24日(木)
場 所 うすい学園 高崎NEXT校
宿 泊 伊香保温泉 ホテル松本楼
時 間 13:00～ 研修会
* うすい学園の取り組み
*(公社)全国学習塾協会 協会事業セミナー
「みんなそろって、学力向上ゼミ！」学習塾と公
教育の連携
14:30(公社)全国学習塾協会関東支部
井原研修部長によるセミナー
「学習塾コンプライアンスについて」

15:30 うすい学園高崎NEXT校校舎見学
18:00 夕食・懇親会
11/24 朝食後各自解
費 用 ¥15,000 (宿泊代・夕食・朝食代 税込み)
※ 研修会のみ参加の先生は費用がかかりません。
※ ご多忙の折とは存じますが、出欠のご返事を
11/14(月)までに下記の総務部へFAX、またはメール
にてご連絡ください。 FAX 048-554-4664
E-mail kgakukan@uranus.dti.ne.jp

関東支部 支部長 渡辺 浩 総務部村社圭一

私塾ねつと誌上句会 第二十五回

編集部選

雨上がりすすきの原に小蝶舞い
そよかぜにボプラくすぐるねこじやらし

すすきの原という無色な世界に、いくらか華やいだ感のある蝶の取り合戦。なにやら詩的で幻想的な風景もある。

かくれんぼ炬燵の中に孫二人
休み明け授業中断雪合戦

長江勝秋

俳句を作り始めると、まず孫やペットが句材になる。かくれんぼの句は身の回りの普段の情景を描き、爺さんの優しい視線があふれて佳句になった。

中村直人
獨酌に艶歌を友に秋の夜
百舌鳥の声夕一刻を破りけり

独酌の句、日本酒好きには納得の一匁である。演歌ではなく艶歌としたところに、木内さんのこだわりがみてとれる。

十亀幸雄
石段を一步のぼりて蟬しぐれ
空蝉を一つ二つと数えけり

いさきか季節外れながら、今年の夏を思い出していたこう。暑かった? 天候不順だった? たしか二ヶ月前のことが覚束ない。リオ五輪が「熱かった」のは記憶にあるのだが。

谷村志厚
錦秋や千両万両の綾錦
さんずいを添えて呑み干す酉の市

さんずいを酉に添えると酒、木内さんへの返句で遊んでみた。

今年の一つの酉は当広報の発行日の十一月十一日、ちなみに編集者(谷村)の誕生日もある。

次号は2月中旬発行の新年号です。
投句はお一人3句まで新年の季語でお願いします。
投稿はメールshikot@aim-net.co.jpまたは
FAX047-368-2189 谷村まで
締切は2月10日。ふるってご投稿ください。

編集部からお願い

FAX047-368-2189 谷村まで
締切は2月10日。ふるってご投稿ください。

閑話休題

編集長 谷村志厚

◆9月中旬、娘から「お父さん小説『みかづき』をよみましたか?」とメールが入った。「みかづき」?なんだそれはとネット検索してみると、直木賞作家の森絵都さんの新刊だとわかった。惹句に「昭和~平成の塾業界を舞台に、三世代にわたって奮闘を続ける家族の感動巨編」とある。おやおやこれはなんと!我々の世界を描いた大河小説らしい。これは捨ておけぬと近所の本屋をめぐるも、どこにも配本がないらしい。やむなくアマゾンに発注する。増刷中とかで思いの他時間がかかる。一週間後ようやく手にした一冊は、なんと500頁に迫る大書。はたして飽きずに読み切れるかと頁をめくったのだが…。

物語は昭和63年、一組の男女が学習塾を立ちあげるところから始まる。主人公は小学校の用務員大島吾郎と児童生徒の母親赤坂千明、いわくありげな二人は、その後結婚をし家族をもうけるのだが…。

第一次ベビーブームを背景に、成長を続ける塾の姿と個性的な家族の生きざまが横糸となって描かれていく。作者は直木賞作家とあって、さすがに物語展開が巧妙である。これに昭和から平成に続く50余年の学習塾を取り巻く世相の歴史が、縦糸となって物語は編まれていくのだが…。

ここで驚いたのは、乱塾、大手塾進出戦争、偏差値追放、ゆとり教育、学校五日制、文科省による塾容認といった学習塾の歴史を繰り返す様々な出来事が、みごとな時代考証のもと活写されていた点である。小生自身が首都圏の学習塾

団体活動において体験した事実が、みごとになぞられていた。

末尾の参考資料の中に、佐藤勇治先生が編纂された「学習塾の百年の歴史ー」がしっかりと収まっているのを見つけ、この本の「厚み」を確信したのである。

ところでタイトルの「みかづき」の由来は?それは冒頭の千明の言葉に見つけることができる。だがそれは、終末の吾郎の言葉によって完結してゆく伏線であった。ではそれは何か?それは読んでからのお楽しみとしよう。

是非ご一読あれ。読書の秋、お勧めの一書である。

◆ノーベル賞の発表があった。今年も日本人受賞があり喜ばしいことであった。だが、毎年文学賞の有力候補者とされる村上春樹氏が受賞を逃し、シンガーソングライターの草分けボブ・ディランが受賞したものだから大騒ぎとなった。生理学・医学賞の大隅良典さんの話題が尻すぼみになったのは、このせいかもしれない。

ところで、日本人の受賞者は大隅さんで23人目となったのだが、お気づきだろうか受賞の全てが国公立大の出身者である。早慶上理いずれの私大からも受賞者はでていない。これはいったいどうしたことだろうか。私大出の当方としては今ひとつ説明がつかないことで、「ノーベル賞国公立大の呪い」とでも言わざるをえない。そこで村上春樹氏の存在が意味をもつ。彼は早稲田の出身で、はからずも小生とは同期、あの70年安保の慌ただしい時期に、キャンパスの喧騒の中で青年期を送ったのである。彼がノーベル賞を受賞すれば、積年の「呪い」の呪縛から解かれるのだが。



集英社・9月10日新刊

私塾ネットセンター 事務局通信



事務局長 鈴木正之(いぶき学院)

◆碇優先生と平林治先生7/3

足利赤十字病院。碇先生が国立がんセンターから転院した病院である。別件で谷村先生と平林先生宅にお伺いした際に、平林先生から碇先生に「会いたい」と言う言葉を聞き、それでは「会いに行きましょう」と言うことになった。平林先生はまだまだ口は達者で、べらんめえ調は健在である。ただ、少し弱音も吐く「(家から北千住まで)歩けねえんだよ」とおっしゃる。そこで、車で足利まで行くこととなる。

谷村先生と竹内先生と4人で東北自動車道を北へ、途中、北関東自動車道路に入り目的地に向かった。病院に着くと、すぐ車いすのおねだりとなり、車いすで碇先生の待つ病室を訪ねた。いよいよご対面。何がそこで話されたのかすでに忘れてしまつたが、涙の対面であったことだけは確かだ。

国立がんセンターで転院間近の碇先生より、その時の碇先生は痩せていたが、平林先生と一緒に笑顔で写真に納まった。その後、館林から川畑先生も自塾のイベントを抜け出して来てくれた。私は碇先生の本籍は私塾ネットと思っているので、身内の者として、川畑先生や内藤先生、稻葉先生が何度も碇先生のところに来てくれて良くしていただいていることは本当に嬉しい。又、AJCの森理事長がお寿司を差し入れた話を碇先生が本当に嬉しそうに話す。森先生のお気遣いに感謝したい。碇先生が回復されて「碇の数学」の授業を聞くことができたら最高である。勿論その時は平林治先生も一緒にいるはずだ。

葉でいつこうに違和感はない。
添句の季語は山葡萄で秋。病葉(わくらば)は本来夏の季語で、青葉の頃に変色した木の葉を言う。掲句の場合は葡萄の熟れる頃の青みを残した葉なので、病葉ではない。今から半世紀も以前の、それも四国の田舎暮らしには、葡萄ばかりではなく果物は全般に貴重な物であつた。そんな時代であつたので、山野は子供たちの「千疋屋」であつた。野いちご、桑の実、山びわ、柿、あけびそして山葡萄。ただし山葡萄は、酸味が強く決して美味しいものはなかつた。昨今の甘い果物に味がなじんだ舌には、それは野いちごもしかりで、いまや思ひ出の中の「甘味」にすぎない。
ただどうだが、なぜかこれが我が家の一品だ。一度食べてみたい果物をご存じだろうか?薄いグリーンの果皮で果肉は黄色く、味はあけびに似ていたが、ヨリトロピカルの風味であつた。北美原産の外来種なもの。山葡萄からめる木々も見慣れつつ(星野立子)
(谷村)

◆エリア東北&エリア関東合同研修会9/4

春の全国研修の際に合同で開催という話が、あれよあれよという間に進んで今回の研修会となつた。

(余談だが「北上でやる」という電話を関先生から頂いたのは、平林治先生の自宅にいた時だった。) とりあえず、「えっ北上」、「新幹線の始発」ということで正直少し引いた。しかし、東北の安藤代表、関東の仲野代表がOKならば、私が反対する筋ではないと賛成した。そして、何よりも関先生の細かな計画を見せられて後には引けなくなつた。「ここまでやるか」というほどの緻密な計画書は見事としか言いようがない。

今回は関先生に教えられたと言うより、その気概に圧倒された感が強い。特に八戸からの運転。ラリー並みの走りで時間通りに事が進んで行った。途中インパクトがあったのはコンビニエンスストア。セブンイレブンではなく「なな・いち・まる」。研修の詳細は広報の本文をご覧いただきたい。

◆エリア関東15周年記念式典10/23

なんといっても渡辺浩先生を中心に、村社先生、長江広紀先生、柳田先生、中村庸彦先生、蓮先生といった次世代を担う先生方が頑張ったことが大収穫である。教材会社各社による研修会は面白い企画であったと思う。身近な方々からの本音の話は参考になる事が多い。私塾ネットの会員の先生方の中にたくさん素晴らしい先生がいる。身近なところから学ぶことの重要性を感じる。

ちぎり絵歳時記③(山葡萄)

作画・中村光江



病葉の陰にひっそり山葡萄(直人)

賛助会員一覧(順不同)

関東国際高等学校 東京都渋谷区本町3-2-2	村山サンドー先生 TEL03-3376-2244
江戸川学園取手中学高等学校 茨城県取手市西1-37-1	竹澤 賢司先生 TEL0297-74-8771
東洋高等学校 東京都千代田区三崎町1-4-16	石井 和彦先生 TEL03-3291-3824
桜丘中学高等学校 東京都北区滝野川1-51-12	品田 健先生 TEL03-3910-6161
聖徳大学附属女子中学高等学校 千葉県松戸市秋山600	川並 芳純先生 TEL047-392-8111
麹町学園女子中高等学校 東京都千代田区麹町3-8	大野 博人先生 TEL03-3263-3014
春日部共栄中学高等学校 埼玉県春日部市上大増新田213	宇野 祐弘先生 TEL048-737-7611
東京立正中学高等学校 東京都杉並区堀ノ内2-41-15	藤井 教戒先生 TEL03-3312-1111
八雲学園中学高等学校 東京都目黒区八雲 2-14-1	横山 孝治先生 TEL03-3717-1196
関東第一高等学校 東京都江戸川区松島2-10-11	副田 康孝先生 TEL03-3653-1541
武蔵野中学高等学校 東京都北区西ヶ原4-56-20	鎌木 文夫先生 TEL03-3910-0151
和洋国府台女子中学高等学校 千葉県市川市国分4-20-1	西山 紀子先生 TEL047-371-1120
新渡戸文化中学高等学校 東京都中野区本町6-38-1	藤井三恵子先生 TEL03-3381-0196
東洋大学付属京北学園 東京都北区赤羽台1-7-12	杉原 米和先生 TEL03-5948-9113
大森学園高等学校 東京都大田区大森西3-2-12	矢部 一紀先生 TEL03-3762-7336
東京成徳大学中学高等学校 東京都北区豊島8-26-9	野中 修也先生 TEL03-3911-2786
日本工業大学駒場中学高等学校 東京都目黒区駒場1-35-32	河村 文夫先生 TEL03-3467-2130
青稜中学高等学校 東京都品川区二葉1-6-6	伊東 充先生 TEL03-3782-1502
東京女子学園 東京都港区芝4-1-30	実吉 幹夫先生 TEL03-3451-6523
駒込中学高等学校 東京都文京区千駄木5-6-25	河合 孝允先生 TEL03-3828-4141
愛国中学高等学校 東京都江戸川区西小岩5-7-1	高橋 英夫先生 TEL03-3658-4111
安田学園中学高等学校 東京都墨田区横綱2-2-25	金子 直久先生 TEL03-3624-2666

日本音楽高等学校

東京都品川区豊町2-16-12

伊庭 崇先生

TEL03-3786-1711

立正大学付属立正中高等学校

東京都大田区西馬込1-5-1

今田 正利先生

TEL03-6303-7683

上野学園中学高等学校

東京都台東区東上野4-24-12

高橋公美子先生

TEL03-3842-1021

二松学舎大学付属高等学校

東京都千代田区九段南2-1-32

館野 宏先生

TEL03-3261-9288

村田女子中学高等学校

東京都文京区本駒込2-29-1

二渡 道雄先生

TEL03-5940-4187

自由学園(中等部・高等部)

東京都東久留米市学園町1-8-15

更科 幸一先生

TEL042-422-3111

帝京中学高等学校

東京都板橋区稻荷台27-1

上瀧 栄治先生

TEL03-3963-7734

京華学園

東京都文京区白山5-6-6

今野 巍先生

TEL03-3941-6493

千代田女学園

東京都千代田区四番町11

長尾 和雄先生

TEL03-3263-6551

日出中学高等学校

東京都目黒区目黒1-6-15

大江 律夫先生

TEL03-3492-3388

共栄学園中学高等学校

東京都葛飾区お花茶屋2-6-1

松宮 博先生

TEL03-3601-7136

中村中学校・高等学校

東京都江東区清澄2-3-15

富田 義道先生

TEL03-3642-8041

東京女子学院中学高等学校

東京都練馬区関町北4-16-11

宗内 信二先生

TEL03-5903-9559

株式会社開コムニティー

千葉県柏市柏2-7-22-202

小林 和光様

TEL04-7164-6511

株式会社私塾界

豊島区東池袋1-39-1三善ビル

山田未知之様

TEL03-3987-0838

株式会社S R J

港区芝公園2-4-1柴パークB館102

板橋 玲様

TEL03-5425-6534

株式会社デザインオフィスズキ

千葉県柏市柏687-6

鈴木 学様

TEL04-7164-8276

株式会社エフューションネットワーク

千代田区富士見町2-11-11 峰ビル3F

齐藤 高志様

TEL03-5275-2101

株式会社小池教育研究所

愛媛県今治市大西町別府2380-1

小池 仁様

TEL090-1451-9757

株式会社POPER

東京都渋谷区桜丘町3-16

栗原 慎吾様

TEL03-6892-1374

株式会社L T S

株式会社

千葉県柏市花野井1925-31

堺 健司様

TEL090-2400-9515

株式会社トーエイ

柏営業所

千葉県柏市若柴297-12

柿内 智之様

TEL04-7190-5890

株式会社塾と教育社

東京都千代田区飯田橋4-4-8-310

加藤麻由美様

TEL03-6265-6855

株式会社ブックモールジャパン

埼玉県戸田市上戸田4-2-33

榎上 聰様

TEL048-447-7457